

ページが広がるのり綴じ製本「パノラマ綴」 のり付け技術生かしてインパクトある製本を実現



見開きページを2ヶ所入れられるのり付け製本「パノラマ綴」

高い技術力と長年培った経験を活かした様々な折りやページ立て面付けで、無駄のない効率的な紙面作りを提案する株式会社長野製本センター（林重幸社長）は、のり付け製本「パノラマ綴」で高付加価値の製本折りを提案している。

同社が提供するパノラマ綴は、1枚の紙に部分的にのりを付け紙を折ることで、約4倍の見開きページを2ヶ所入れることが出来る。パノラマ綴を活用することで、パノラマ写真やマップ展開など、スペースが限られていた印刷物の制限を取り払い、ページものの印刷物の可能性を広げる。さらに、パノラマ綴は従来にない見開きページなので、読み手にインパクトを与える。

パノラマ綴は、のり付け装置を活用したことで実現したのり付け製本。のり付け装置を活用する

事で、掛下側ののり付けポケット加工や、蛇腹折りによる変形12～20頁の加工など、1枚の紙から多様なのり綴じ製本が実現する。また、加工行程も削減。針金を使わないため環境にも優しい新しい製本の形を提案できる。

のり付け製本は最大で28ページまで対応し、様々な折りと組み合わせて、デザイン性の高いパンフレットやDMを作ることができる。

この他に、切り取りミシンを綴じ込んだ中綴じ製本や、のりも針金も使わず8ページの冊子がワンパスでできるマジック折り、従来の経本折の

欠点をなくし、見易さを追求した両見出し階段折、外3ツ折を綴じ込んだ中綴じ製本などを手がけている。

同社の林社長は「錯綜する現在の製本業界の変化に対応し、顧客の期待に応えるべく、今まで培った技術と経験のもと、製本折加工のスペシャリストを目指しています。付加価値の高い製品の思考と、品質向上追求の為に、高生産性を求めた設備の拡充をはかり、期待に応えたい」と製本専門会社としての意気込みを述べている。

株式会社長野製本センター

本社：長野県長野市大字風間2034-24

電話 026-222-6972

<http://www.n-s-center.co.jp>